

# サイエンス・プロジェクトⅢ（3年理型・文型クラス）

## 1 目的

自己と社会の関わり方や進みたい分野の諸課題等を多面的に考察することで、具体的なキャリアプランを設計し、より主体的な進路選択を実現することを目的とした。キャリアプランの作成・発表を通じて、実社会や実生活の中から疑問や課題を見だし、生徒自身が大学進学目的と意義とを明らかにすることを目指した。

## 2 概要

高校3年間の課題研究の集大成として、グループで学問分野別探究活動を行い、各クラスと学年全体で成果発表会を行った。実施計画は以下の通りである。

<実施計画>全8時間

回	実施日	内容
1	4/24	ガイダンス
2	5/1	グループ研究①（班編成・事前調査）
3	5/15	グループ研究②（分野研究）
4	5/29	グループ研究③（分野研究）
5	6/5	グループ研究④（発表準備）
6	6/12	グループ研究⑤（発表準備）
7	6/19	クラス発表会
8	7/3	最終成果発表会・振り返り

### （1）グループ研究①～⑤

ガイダンスを経て、個々で作成した「キャリアプラン構想シート」をもとにして、「グループ編成」を行った。同系統の学問に興味を持つ生徒同士で班を構成し、そこでのやり取りを通じて、大学選びの様々な観点を知るとともに、今後の社会が直面する諸課題にどのように関わっていくか考えを深め合った。その後、成果発表会へ向けたプレゼンテーション項目を確認するとともに、発表用ルーブリックを用いて評価項目を確認した上で、「発表資料（Googleスライド）」の作成に取り組んだ。プレゼンテーション作成の中盤では、進捗状況の確認およびクラス発表会への練習を兼ねた「ミニ・プレゼン」を行った。各クラスの担任・副担任に向けて発表を行い、内容や発表に関する指導助言を得て、ブラッシュアップを図った。

### （2）クラス発表会

作成した発表資料を用いて、クラス内で発表を行った。互いの発表から、大学での学びと将来取り組んでいく社会課題への向き合い方を学び合った。発表内容に関する質疑応答も活発に行われ、学問分野を分析する新たな見方・考え方を得た。発表用ルーブリックを用いた自己評価・他者評価も行い、これまでの研究を振り返った。



### （3）学年最終成果発表会

各クラスより代表班を選出し、学年で最終成果発表会を行った。文理の枠を超えて研究内容や提言を共有していく中で、視野の深化・拡張へと繋がった。発表会后、取り組み全体を通じて学んだことや気づきを各生徒がレポート（Googleドキュメント）にまとめ、提出した。



## 3 成果と課題

生徒レポートから、「大学での学びと社会課題を考察することで、幅広い進路選択の視点と高い意欲を獲得することにつながった」「グループを進めていくことで、多様な視点からアプローチでき、研究に広がりや深みが出た」「探究活動を通じて、自分の意見や考えをまとめて分かりやすく伝える力が身に付いた」という感想が多く抽出でき、成果として捉えられる。

課題としてはグループ研究として実施したため、個人レベルでのビジョンの明確化が不十分であったことが挙げられる。個人レポート等に適切なフィードバックを行うことで、生徒個人の考えが明確になるようにしていく必要がある。